

ANGELLO MANGIAROTTI

アンジェロ・マンジャロッタの哲学とデザイナー
— マエストロと日本人スターの協働の記録 —

La Filosofia del Maestro

opere dell' Architetto Angelo Mangiarotti e
il suo rapporto con gli allievi giapponesi



Padiglione per Esposizioni Fiera del Mare, Schizzo: Angelo Mangiarotti, Grafico: Kigamitsu

2012.6.14 Thu - 30 Sat イタリア文化会館

時間 = 11:00 - 18:00 (最終日は16:00まで) / 日曜休館 / 入場無料 ■ 特設サイト <http://www.ab.auone-net.jp/~angelo>

主催 = イタリア文化会館 / アンジェロ・マンジャロッタ事務所 (Trust Fondazione Angelo Mangiarotti) / アンジェロ・マンジャロッタイ・アソシエイツ (日本) 特別協賛 = YKK株式会社 / TOTO株式会社

協賛 = Vistosi / UNIFOR / Agapecasa / Politecnico di Milano / 株式会社アキラ / アツココンセプト / アルブリッサ株式会社 / 株式会社石本建築事務所 / 株式会社エイチ・エー・デザイン / 株式会社小川工務店

株式会社国代耐火工業所 / 株式会社コラム / 株式会社佐藤秀 / 社台グループ / 株式会社秀光 / 白石建設株式会社 / 株式会社杉養蜂園 / 株式会社鈴木大理石 / セラトレーディング株式会社 / 千代田エンタープライズ株式会社

トーヨーキッチン & リビング株式会社 / PASSION FOODS株式会社 / 株式会社アトリコース / 株式会社水澤工務店 / 株式会社三菱地所設計 / 森の窓販売株式会社 / アンジェロ・マンジャロッタ展応援団



ANGELO MANGIAROTTI

アンジェロ・マンジャロッチェの
哲学とデザイン

マエストロと日本人スタッフとの
協働の記録

91歳を数え、今なお現役であるイタリア建築界の巨匠アンジェロ・マンジャロッチェは、時代の移り変わりや年月とともに、その活動範囲を建築からデザイン、そして彫刻へと拡げ、半世紀以上にも渡り絶え間なくデザイン活動を続けています。マンジャロッチェの作品と、その作品に込められたマンジャロッチェ独特の創造することへの情熱に魅せられた人々も少なくありません。ミラノのマンジャロッチェ事務所には、1960年代から現在に至るまでの殆どの期間、日本人の建築家やデザイナーが在籍してきました。マンジャロッチェの哲学は時代や国境を超えて、多くの建築家やデザイナーたちに継承され続けているということができるといえるでしょう。本展覧会では、マンジャロッチェの哲学をイタリア、日本で制作したそれぞれのパネルと、家具やデザイン、彫刻などの小作品やスケッチで紹介します。また、ミラノで出版された書籍『Architetti e Designers Giapponesi dallo Studio Mangiarotti (マンジャロッチェ事務所出身の日本人建築家、デザイナーたち)』(Maggioli Editore, 2012)の一部を特別にプレゼンテーションします。さらに、展覧会を記念して講演会を開催するとともに、アソシエイツ・メンバーの座談会も予定しています。



Angelo Mangiarotti
アンジェロ・マンジャロッチェ

1921年ミラノ生まれ。1948年ミラノ工科大学卒業。1953-54年米国にて活動を展開。ライト、グロピウスやミース等と親交を結ぶ。1955年ミラノにモラスツェッティと事務所設立、1960年に独立。創作活動の傍ら、国内外の大学で熱心な教育活動も展開。1997年ミラノ工科大学建築学部インダストリアルデザイン学科教授を務め、卒業講義を受け持つ。その他、国際レベルでの数多くのセミナーや講演を行う。マンジャロッチェは誰もがモノ本来の使用目的を認識できることを目指して、各々のモノ固有の性質を際立たせる創作活動を行ってきた。常に素材の性質を厳密に考慮して、材料の本質からモノの形を導き出すことを探求し続けている。

Anna Mangiarotti
アンナ・マンジャロッチェ

1950年ミラノ生まれ。建築家。ミラノ工科大学建築学部理工学研究所 Building Environment Science and Technologyの主任教授。素材技術を専門に教鞭を執り、博士課程のコーディネーターを務める。革新システムテクノロジーとエレメントデザインを留意したデザイナーでもある。

Alberto Spósito
アルベルト・スポジト

1939年シチリア生まれ。建築家、パレルモ大学建築学部主任教授。建築テクノロジー及び考古学上の修復が専門。建築表現法と文化財保護との関係を問う論文として、「日本における建築と産業(1975)」「古代テクノロジー(2008)」「システム建築(2010)」等を執筆。最新論文は「モルガンティナーナにおける古代ギリシャ円形劇場(2011)」。

Angelo Mangiarotti Associates
アンジェロ・マンジャロッチェ・アソシエイツ

マンジャロッチェ事務所に在籍した日本人スタッフ数名が帰国後の1989年に結成。現在まで、マンジャロッチェの来日講演会や展覧会、作品集出版のサポートを続ける。メンバーは、河原一郎(故人)、川上元美、竹居正武、石井千歳、濱口オサミ、三井一成、奥田宗幸、諸角敬、豊島夕起夫、元良信彦、天野忠夫、宮川格、伊藤節、河合俊和、堀川絹江。



© Akinobu Kawabe



1 バランザーテの教会(ミラノ、1957) 2 海の見本市展示館(ジェノバ、1963) 3 ファチェッパ社の構造システム：エルマグ社工場(ミラノ、1964) 4 コッレのクリスタルシリーズ(1986-) 5 円錐の大理石彫刻：天空の円錐(1987) 6 時計：セクティコン(1955)

講演会「アンジェロ・マンジャロッチェの哲学とデザイン」

展覧会プレオープンイベントとして、記念講演会・座談会を開催します。

基調講演——アンナ・マンジャロッチェ／アルベルト・スポジト

座談会——アンジェロ・マンジャロッチェ・アソシエイツ
ナビゲーター：淵上正幸(建築ジャーナリスト)

日時——6月13日(水) 18:00 - 20:00

会場——イタリア文化会館 アニエッリホール

定員350名(会場先着順受付)／参加無料／日伊逐次通訳

イタリア文化会館 <http://www.iictokyo.esteri.it>

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30(東京メトロ東西線、半蔵門線、都営新宿線「九段下駅」出口2から徒歩10分／駐車場はありませんので、車での来館はご遠慮ください) Tel. 03-3264-6011(内線13,14)